

## みんなにやさしい、特別支援教育（5）

### ◆目からの情報を加えて話す

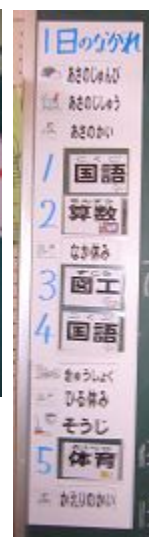
Y先生の学級に伺うと、朝の会の時間で、今日一日の予定を説明されていました。その日は、校医健診がある日で、健診の時に気をつけることを話しておられました。先生が校医さんになって、子どもたちが一列に並んで実際にやっておられました。一人ひとりの動作に対して、「〇〇が良かったよ」「〇〇がしっかりできたね」と話しながら、また先生が実際に行いながら示しておられました。



また、教室に入ると、いろいろな視覚支援が用意されています。朝の教室に行くと、登校した後にする仕事の手順が絵と文字でしめされていますし、

1年や2年生の教室では、黒板の左側に1日のスケジュールが示されています。

言葉だけの説明で、具体的なイメージをつくるのは大人でもむずかしい作業です。目からの情報も付け加えて話すことで、具体的な理解が進みます。また、耳からの情



報は、意識しないと抜け落ちます。ふっと違うことに気が向いた瞬間、耳から入ってくる教師の言葉は、ただの雑音になってしまいます。しばらくして、もういちど教師の話に意識をもどしても、前後の脈絡がきれてしまって、何を言っているのかわからないことが多々あります。

そんなとき、目に見える資料が前にあれば、耳からの情報を補完してくれ、理解をつなぐことができます。